

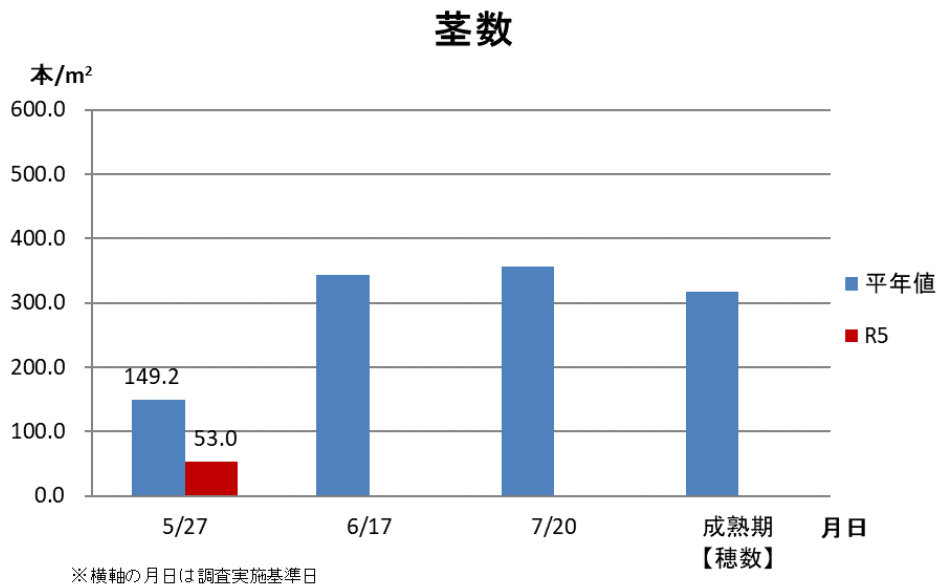
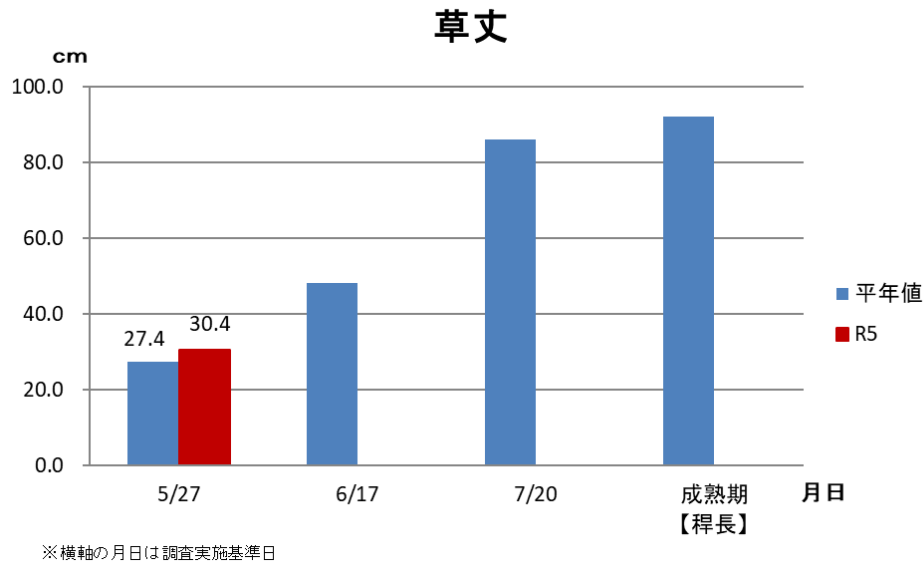
# 令和5年度 農作物（水稻）モニター事業調査結果

本県NOSA Iでは、水稻の生育状況を調査し、気象・病虫害発生状況などの基礎情報を継続的に観測して、県内水稻の作柄や被害発生状況の把握に務めています。

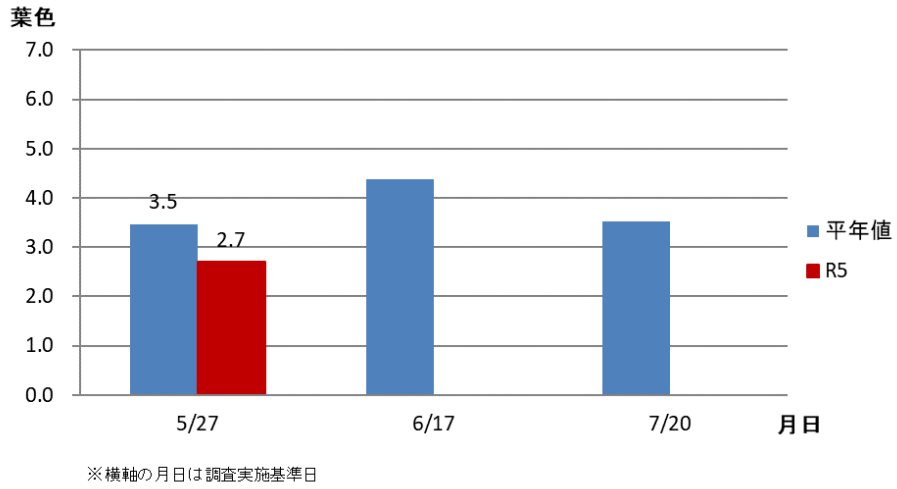
## 1. 水稻の生育および病虫害発生調査結果（第1回）

### 1) 水戸市の調査結果

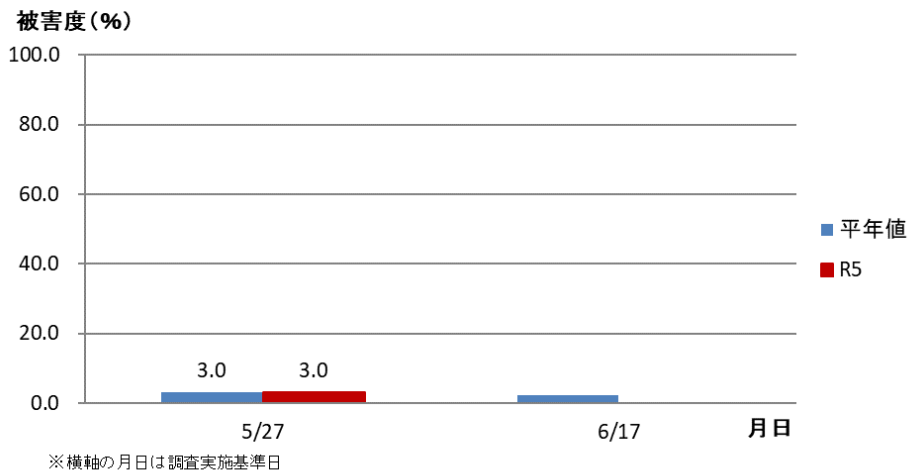
調査場所	品種	移植日	調査日
水戸市	コシヒカリ	5月12日	5月29日



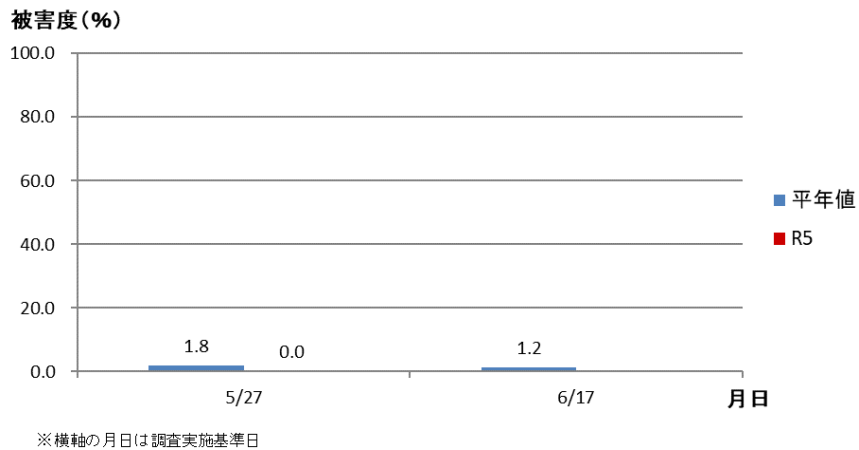
## 葉色(カラスケール)



## イネミズゾウムシ



## イネドロオイムシ



○被害度は該当虫による葉の食害の度合い

○平年値は平成 30～令和 4 年の 5 年間の平均値

## ○生育調査の結果について

### 【生育状況：過去 5 カ年の平均値との比較】

生育は、過去 5 カ年の平均値に対し、草丈は高く、莖数は極少なく、葉色は淡くなっています。

### 【今後の管理上の注意点】

莖数が平均よりも少なくなっています。深水により莖数の増加を抑制する場合がありますので、活着後は 2～3 cm 程度の浅水管理とし、水温を上げて分げつの発生を促進させ、莖数確保に努めましょう。一方、今後は莖数が急激に増加することが予想されますので、中干し適期を逃さないように注意します。「コシヒカリ」では、莖数 330 本/m<sup>2</sup>（畦間 30cm×株間 20cm で 1 株当たり 20 本）の確保を確認したら、速やかに中干しを開始します。

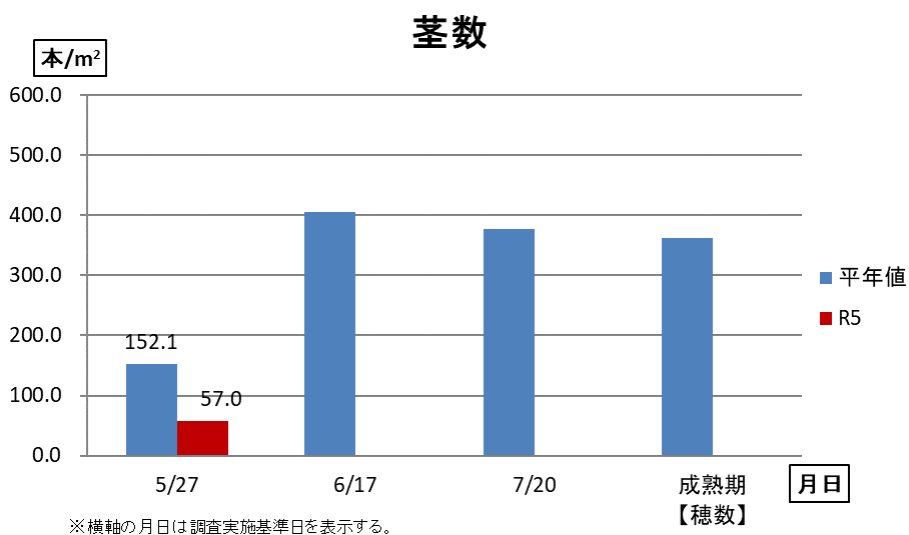
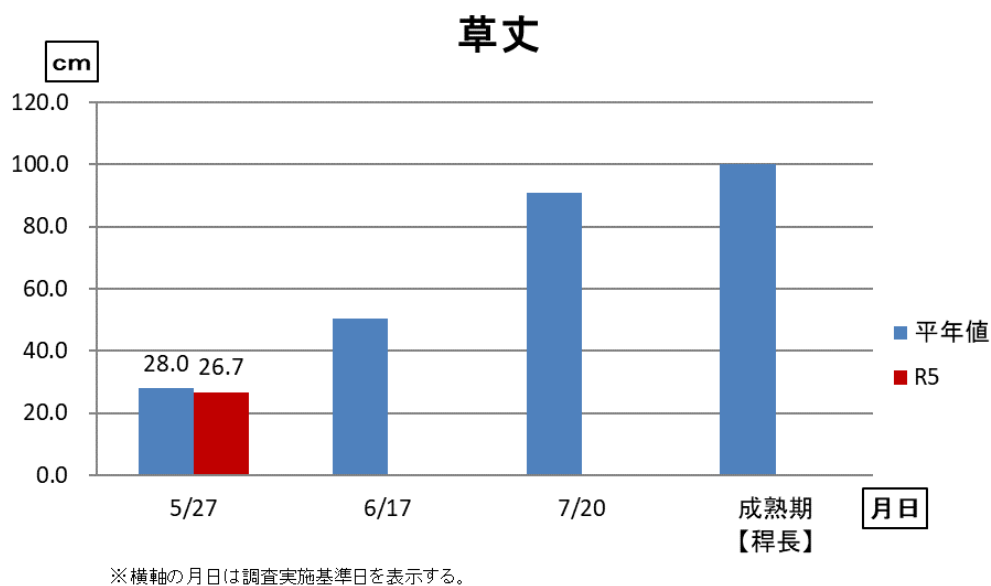
今後は梅雨期にあたりますので、確実な中干しを実施するためには、用水を止めるだけでなく、水尻（排水口）を低くしたり、暗渠の水甲を開けたりする等、完全に落水させるような工夫が必要です。

## ○病虫害発生調査の結果について

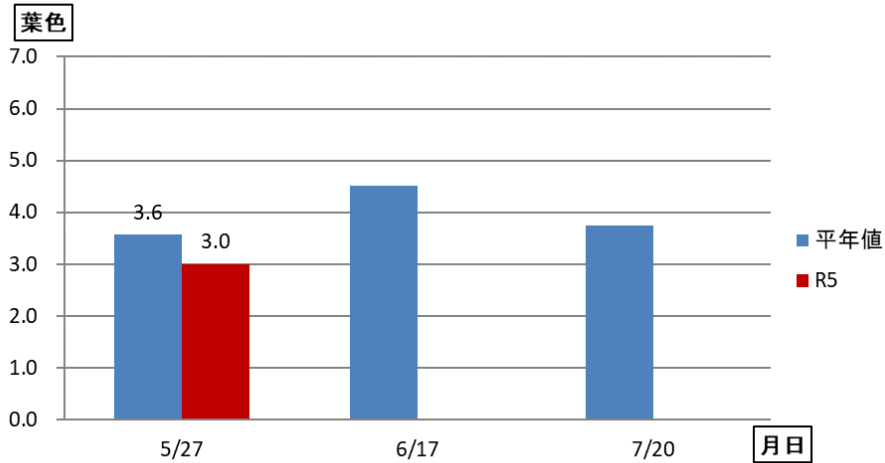
県病虫害防除所の調査によると、5 月下旬現在、イネミズゾウムシは平年並み、イネドロオイムシの発生はやや少なくなっています。今後、曇雨天が続くとイネドロオイムシの被害が助長されますので、発生状況に注意し、食害が特に目立つ場合は防除しましょう。

## 2) 茨城町の調査結果

調査場所	品種	移植日	調査日
茨城町	コシヒカリ	5月13日	5月29日

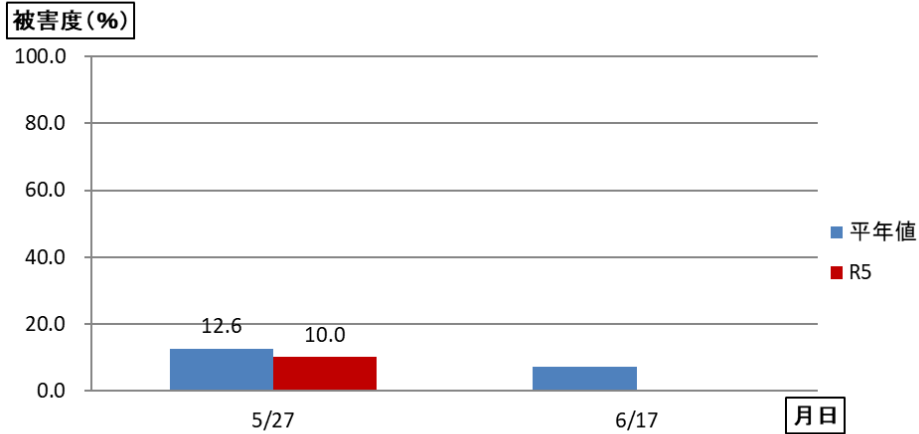


## 葉色(カラスケール)



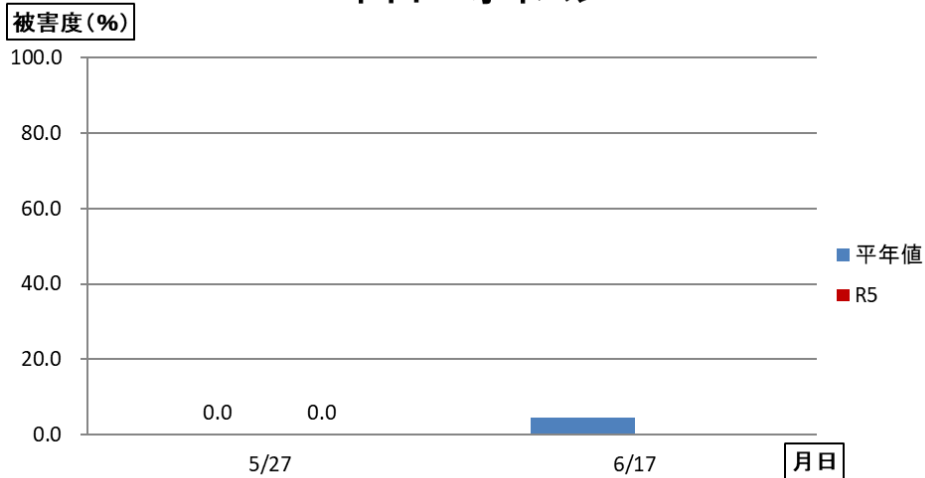
※横軸の月日は調査実施基準日を表示する。

## イネミズゾウムシ



※横軸の月日は調査実施基準日を表示する。

## イネドロオウムシ



※横軸の月日は調査実施基準日を表示する。

- 被害度は該当虫による葉の食害の度合い
- 平年値は平成30～令和4年の5年間の平均値

○生育調査の結果について

【生育状況：過去5カ年の平均値との比較】

生育は、過去5カ年の平均値に対し、草丈は平年並み、茎数は極少なく、葉色は淡くなっています。

【今後の管理上の注意点】

茎数が平均よりも少なくなっています。深水により茎数の増加を抑制する場合がありますので、活着後は2～3cm程度の浅水管理とし、水温を上げて分げつの発生を促進させ、茎数確保に努めましょう。一方、今後は茎数が急激に増加することが予想されますので、中干し適期を逃さないように注意します。「コシヒカリ」では、茎数330本/m<sup>2</sup>（畦間30cm×株間20cmで1株当たり20本）の確保を確認したら、速やかに中干しを開始します。

今後は梅雨期にあたりますので、確実な中干しを実施するためには、用水を止めるだけでなく、水尻（排水口）を低くしたり、暗渠の水甲を開けたりする等、完全に落水させるような工夫が必要です。

○病虫害発生調査の結果について

県病虫害防除所の調査によると、5月下旬現在、イネミズゾウムシは平年並み、イネドロオイムシの発生はやや少なくなっています。今後、曇雨天が続くとイネドロオイムシの被害が助長されますので、発生状況に注意し、食害が特に目立つ場合は防除しましょう。

2. 次回調査日

6月17日

茨城県農業共済組合連合会調べ  
協力：茨城県農業総合センター